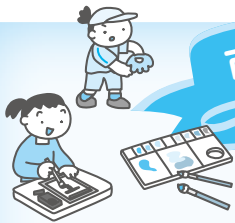


市内で活躍している小中学生の皆さんを紹介します



がんばる 志木っ子!

「がんばる志木っ子!」コーナーは、随時、各学校などからの情報提供に応じて、活躍する志木っ子(児童・生徒)の皆さんを紹介しています(順不同・敬称略)。



第16回全日本少年少女空手道選手権大会 出場
(東京都予選 小1女子 形 準優勝)
佐藤美波(志木第三小学校・1年[受賞時])



第5回全国書写書道総合大会 平成28年度全国硬筆コンクール 文部科学大臣賞
第5回書写書道伝統文化大会 平成28年度全国年賀はがきコンクール 文部科学大臣賞
榎本理沙(宗岡小学校・6年[受賞時])

図書館おすすめ本コーナー ⑫ 今月の一冊



今回は志木小学校6年生の図書委員(平成29年3月時点)、石井文音さん(左)と越坂部萌さん(右)がおすすめの本を紹介します。

『マジックツリーハウス アラビアの空飛ぶ魔法』

問合せ/いろは遊学図書館 ☎(471)1478

著者:メアリー・ポープ・オズボーン
翻訳:食野 雅子
出版社:メディアファクトリー

『マジックツリーハウス アラビアの空飛ぶ魔法』を読んだきっかけは、友だちが読んでいておもしろそうだったからです。

兄妹のジャックとアニーは、1,200年ほど昔の砂漠の国に行きました。そこは世界でもっとも繁栄した都「バグダッド」でした。二人は砂漠の商人から「宝箱を守ってほしい」と頼まれ、そのバグダッドへ約束を果たすために向かう、ドキドキ、ワクワクする冒険ストーリーです。

心に残った場面は、守ってほしいと言われた宝箱の中に入っていた本が砂嵐で粉々になり、直せそうになかったときに、ジャックとアニーが魔法の呪文を言ったところです。本がキレイに元どおりになったので、読んでいて夢中になりました。

冒険ストーリーが好きな人、冒険がしたい人におすすめの一冊です。



志木を知り 志木を愛する 市民のかるた



「しき郷土かるた」 しき郷土かるたの舞台のいま・むかし

第35回

泣虫稲荷

昔、隣村から宗岡に嫁いできたお嫁さんに、男の子が生まれましたが、この赤ん坊の夜泣きが激しく、それが原因で体をこわしてしまい、実家で養生することになりました。ところが、実家への帰り道、草むらの中の小祠を見つけたので、赤ん坊の夜泣き治癒を祈願して帰ったところ、不思議にもその晩から赤ん坊の夜泣きは止み、お嫁さんも健康を回復したということです。それ以後、夜泣きを治すお稲荷様として、あつく信仰されてきたといわれています。

現在、この祠は個人宅に移転されましたが、現存しています。



※「しき郷土かるた」は、志木駅東口駅前広場の舗装の一部に、絵タイルとして敷設されています。



以前、泣虫稲荷があった場所
付近(中宗岡1丁目)